

## ～不安定は危険です～

近年、日経平均株価は下がってきていますがこれと連動しているのが外貨で、この2つはとても不安定です。それに比べ、金の相場はここ近年上がり、安定しています。もしあなたにお金があったらどちらに投資するでしょうか。そして聖書でもこの金をとても尊んでいます。また大気も「不安定」なのですが、これは上がろうとする空気と下がろうとする空気が入り混じり不安定なのです。そして飛行機や大きな物事を通った後は、「不安定」になりやすいのです。安定に見えて不安定よりも不安定に見えても安定しているほうがよいのです。そしてこれが信仰です。私たちクリスチャンが信じているものは先が見えないので不安定です。しかし人の見た目によらず神様は基礎を強固にし、御言葉の基礎を与えて不安定にならないようにあなたの人生を導こうとしています。私たちも安定したところに投資しますが、神様も不安定な人より安定している人に賜物を任せます。(マタ25:16～) 5タラント、2タラント任されたしもべは安定していましたが、1タラント任されたしもべは心配や不安ばかりでした。不安定であることは私たちにとって損です。教会に集う私たちも世の中の人も安定を求めています。世の中の人は物質に安定を求めますが、心は安定を求められていません。あなたの心は安定していますか。大気のように上がったり下がったり、定期的に繰り返される不安定は疲れ、最終的に何もしたくなくなり余計に不安定になってしまうのです。(詩15：1～5)「正しく歩み、義を行ない、心の中の真実を語る人。」(2節) 真実(エメツ)は「真理、真実、確かさ、安定、信頼性、信頼できること」を言います。聖書では1300回この言葉が使われますが、この「真理」が「安定」なのです。新約では「安定」という言葉は「不安定」という言葉でしか用いられていません。イエス・キリストが「真理」だからです。私たちは真理の言葉を信じていれば安定しているはずですが、あなたの心が不安定になっているということは、「真理」が継続的に心の中心にないということなのです。核ができていないかできていないかは根本でありこれがなければ安定なんてありません。核がしっかりしていれば安定しているはずですが、私たちの核が傷つくと細胞を構成できなくなります。核は普遍的であるから意味があり、そうでなくなればガン化し、私たちの安定は蝕まれています。この継続的な安定をつかまなければせっかく核を持っていても意味がありません。あなたのまわりに問題がおきたり、ちょっと嫌なことがあると落ち込んだりする、これが不安定なのです。価値観が偏ったりしてバランスを欠くことはよくありません。「あの人は変わらないな」と言われる人になってほしいのです。よい時は誰でもよいのです。あなたの心の中に安定(信頼できる確かな真理)があるか考えてください。(詩15：5)「ゆるがされない」と「真実」が一緒なのです。(マタ6：34)一番中心が安定していれば、それ以外の小さなところはついてくると聖書では約束されています。安定している人は日々の生活で悩まされることはないし、大きな問題が起きてもそれには解決があると信じられるのです。大気圏に飛び出すには自らの中心を自らで守らなくてはなりません。「こう生きる」と決めても少し不利になったら「今はやめた」となるので落ち込むのです。いかなるときも患難や苦しみから逃げたいいけない、一度すると決めたことは損失があっても変えない、これがとても大切であり、あなたが安定する秘訣なのです。不安定にならないために**①心と口に注意**。聖書ではあなたの心の中にあるものと口から出るものに注意しなさいと言っています。(詩15：2、3)(ヤコブ3：7～)「しかし、舌を制御できる人は一人もいません。・・・」(ヤコブ3：8)この「制御」が「不安定」ということであり、舌は不安定だということを言っています。だから舌はじっとしていない悪なので心を変えなさいと言っています。心を変えないと舌を制御することはできません。どこにいてもあなたの言うこととやることが同じでなければいけません。だから二心ではいけないのです。初めは心にあることを隠すために嘘をつきますが、次にはよいことも言えなくなり、心と言葉が独立してしまうのです。言葉は神のみどころです。あなたは口ではよいことを言っても心は違うことありませんか。心の中の物と言葉を一致しないと偽りになり罪になります。心を制するのは偽りは違います。悪い心を消すことはクリスチャンのすべきことで、心にあるのに嘘の言葉を出すことは偽りです。私たちがこれを制さなくてはなりません。**②希望を忘れない**。(Iコリ13：13)信仰がもてるから希望がもててその結果愛に行き着くのです。一番優れたものを追い求めるためにはこの二つがないとだめなのです。相手や神様に対して信じて希望を持つという気持ちがあればこそ相手の変化することを求めることができるのです。信仰と希望と愛を追い求めなくてはなりません。そして心に安定を持つために大切なのがこの信仰と希望です。信じた答えが希望です。だから希望を持ち続けなくてはなりません。(詩15：4)こうすると決めたことについては成し遂げることが大切です。たとえ悪い状況になったとしてもそこに希望があると信じてやったのであれば、その希望がみどころでないわかるまで信じ続けなくてはなりません。(ヘブル6：15～)「わたしたちが持っているこの希望は、魂にとって頼りになる、安定した錨のようなものであり、また、至聖所の垂れ幕の内側に入っていくものなのです。」(19 新共同訳) 魂とは知識・意志・感情でありこれらの頼りとは心の安定材料です。だからこそ希望を求めてください。できないと思ったことに希望を持っていないと錨がなく流されてしまいます。そして希望があったから祭祀は、幅が10センチも20センチもあるような垂れ幕をくぐって通ったのです。こういう奇跡は希望を持っていないとできません。イエス様が十字架に架かったとき、この垂れ幕が破れ神様との隔たりがなくなりました。だからこそ私たちは希望を持っていかなくてはなりません。**③偽らずゆるす心を保つ**。神様に希望を与えられたのですから全ての環境、人に対し赦し、希望を持ち続けなくてはなりません。そうでなければ不安定になります。相手の態度を見るたびに不安定になっていいのでしょうか。あなた自身であって相手のあなたではありません。しかし私たちは人の言動や態度で心の状況が変わってしまいます。不安定な人はこれが顕著です。心電図人生をやめなくてはなりません。悪いことは誰でも起こりますがいつまでも続くわけではありません。今日から安定して継続し御言葉を実践する人になってください。神様は必ず誓いはたされる方です。信じ続けていきましょう。